Intel® テクノロジーを使用した コンピューターの再開および更新

インテル® ラピッド・スタート・テクノロジーの機能を使用すると、操作を行っていない状態からお使いのコンピューターをすばやく再開できます。ラピッド・スタート・テクノロジーでは、省電力オプションが以下のように管理されます。

- スリープ：ラピッド・スタート・テクノロジーでは、スリープ状態を選択できます。スリープ状態を終了するには、任意のキーを押すか、タッチパッド/イメージパッドを操作するか、または電源ボタンを短く押します。
- ハイバネーション：ラピッド・スタート・テクノロジーでは、以下の条件でハイバネーションが開始されます。
  - コンピューターがバッテリまたは外部電源で動作しているときに、操作していない状態が 2 時間を超えた場合
  - バッテリ充電残量が完全なロー バッテリ状態に達した場合

  ハイバネーションが開始された後で作業を再開するには、電源ボタンを押します。

ハイバネーションの実行はラピッド・スタート・テクノロジーによって制御されるため、ユーザーが選択可能なオプションとしては表示されません。

ラピッド・スタート・テクノロジーは出荷時に有効に設定されていて、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効に設定できます。セットアップ ユーティリティ（BIOS）でラピッド・スタート・テクノロジーが無効に設定されている場合は、手動でハイバネーションを選択できます。

インテル® スマート・コネクト・テクノロジーの機能を使用すると、コンピューターのスリープ状態が定期的に終了されます。その後、スマート・コネクトにより、開いているアプリケーションのうちの必要なものの内容が更新され、スリープ状態が再開されます。そのため、スリープ状態が終了した後すぐに作業を再開できます。更新がダウンロードおよびインストールされる間、作業の手を止めて待つ必要はありません。

スマート・コネクト・テクノロジーは、出荷時の設定で無効になっています。最初にセットアップ ユーティリティ（BIOS）で設定を変更し、次にWindowsで[スタート]→[すべてのプログラム]→[Intel]→[Intel Smart Connect Technology]（インテル スマート・コネクト・テクノロジー）の順に選択することによって、スマート・コネクト・テクノロジーを有効にする必要があります。

さらに詳しい情報およびサポートされているアプリケーションの一覧については、ユーザー ガイドおよびソフトウェア ヘルプのセットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断に関する章を参照してください。

679382-291